

## 貸借対照表からわかること

平成17年度の貸借対照表を、普通会計と連結で比較しました。

### 【普通会計】

塩 竈 市	
資産 662億円	負債 239億円
	正味資産 423億円

市民1人当り  
で見ると

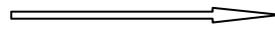


市民1人当り	
資産 111万円	負債 40万円
	正味資産 71万円

### 【連 結】

塩 竈 市	
資産 823億円	負債 380億円
	正味資産 443億円

市民1人当り  
で見ると



市民1人当り	
資産 137万円	負債 63万円
	正味資産 74万円

(H18.3.31現在 59,904人で算出)

①資産総額は、823億円（市民1人当り137万円）

有形固定資産は約739億円で資産の89.7%を占めています。大きなものでは、水道事業で約103億円が普通会計の貸借対照表に加わっていることとなります。

②負債総額は、380億円（市民1人当り63万円）

固定負債の「地方債」と流動負債の「翌年度償還予定額」をあわせた地方債総額は約307億円で、負債の81.0%を占めています。

③正味財産総額は、443億円（市民1人当り74万円）

一般財源・剰余金等は297億円で正味資産の67.0%を占めていますが、病院の累積赤字もあり普通会計と比較しても大きく増えていない状況にあります。

## コスト計算書からわかること

平成17年度の行政コスト計算書を、普通会計と連結で比較しました。

### 【普通会計】

塩 竈 市	
費用の部	173億円
収入の部	167億円
当期純剰余金	△6億円

市民1人当り  
で見ると

市民1人当り	
費用の部	28.9万円
収入の部	27.9万円
当期純剰余金	△1.0万円



### 【連 結】

塩 竈 市	
費用の部	214億円
収入の部	202億円
当期純剰余金	△12億円

市民1人当り  
で見ると

市民1人当り	
費用の部	35.7万円
収入の部	33.7万円
当期純剰余金	△2.0万円



#### ①費用の部

普通会計に比べ、1.24倍となっています。主な内容は、企業会計との経費の相殺消去により補助費等が約2.2億円減少しましたが、人件費で約20億円、物件費で約14億円増加しています。

#### ②収入の部

普通会計に比べ、1.21倍となっています。主な内容は、病院等事業収益で約18億円、水道事業使用料収入で約18億円増加しています。

#### ③当期純剰余金

連結行政コスト計算書では、約12億円の純損失となっています。これは、水道事業会計及び土地開発公社においては純利益を確保したものの、普通会計及び病院事業会計において純損失が生じたことによるものです。

#### ④当期末一般財源等

普通会計に比べ、50億円減少し227億円となっています。これは、病院事業会計における当該年度未処理欠損金53億円が主な要因です。